

胃内視鏡検査 説明・同意書

食道や、胃、十二指腸を直接内視鏡で観察することにより、炎症や潰瘍、早期がんを発見します。

- 検査前日は 21 時ごろまでに食事を終わらせてください。水分はとっていただいて結構です。
- 検査当日の朝は絶食です。
- 脱水予防のためにコップ 1 杯のお水を飲んでください。
- 持病薬の内服は、個別にご指導いたします。
- 検査の際に緊張や痛み軽減するために、鎮静剤を使用することができます。ご希望の方はお申し出ください。鎮静剤を使用すると、自動車、バイク、自転車などでの来院および、当日の運転はできません。また、検査後は 1 時間ほど院内でお休みいただきます。
- 来院後、胃の中を見やすくするためのお薬を内服し、のどまたは鼻を麻酔します。まれに、この麻酔薬によるアレルギー反応がありますので、以前に内視鏡や歯科などの麻酔で、具合が悪くなられた方はお申し出ください。
- ベッドに横になり、内視鏡を口または鼻より挿入し観察いたします。検査時間は 10 分程度です。組織を採取（生検）することがあり、少量の出血を伴います。血液をさらさらにする薬（バイアスピリン、プラザキサ、プラビックスなど）を服用の方は、必ずお申し出ください。
- 検査後終了後、1 時間は麻酔がかかっているので、飲食はしないでください。1 時間ほどたったら、お水を 1 口試し飲みしていただき、むせこまないことを確認の上、飲食を開始してください。
- 組織を採取した場合、検査当日の食事はおかゆ、うどんなどのやわらかい食事をしてください。アルコール、刺激物、激しい運動、入浴（シャワーは可）は避けてください。

【偶発症】

当院では安全で正確な内視鏡検査を心がけておりますが、精密な検査ほど偶発症の頻度が増加します。組織検査や内視鏡操作による出血や穿孔、ショック（血圧低下）、使用薬剤によるアレルギー、ショック、静脈炎、呼吸抑制、一過性の健忘などの偶発症を起こす可能性があります。偶発症発生率は 0.022～0.064%、死亡率が 0.0007%と報告されています。万一、偶発症が発生した場合には、最善の処置・治療を行います。

岐阜なかの内科・内視鏡クリニック

院長 中野 聡

同意書

岐阜なかの内科・内視鏡クリニック 院長殿

私は、胃内視鏡検査を受けるにあたっての説明を受けて、その内容、必要性、偶発症の可能性を理解しましたので、その処置を選択し、実施を受けることを承諾します。

鎮静剤の使用を希望する場合は、当日、自動車、バイク、自転車などの運転は行いません。重機や機械の操作や、危険を伴う仕事も行いません。

- | | | | |
|-----------------|--------------------------|-------|---------------------------------|
| 胃内視鏡検査を受けることに | <input type="checkbox"/> | 同意します | |
| 検査中に鎮静剤を使用することを | <input type="checkbox"/> | 希望します | <input type="checkbox"/> 希望しません |
| 生検することを | <input type="checkbox"/> | 希望します | <input type="checkbox"/> 希望しません |

令和 年 月 日 患者自筆 署名 _____